

ACK Kids' Programs

アーティスト・イン・キッズ・プログラム



MIRU



参加
無料

無料
託児
あり



TSUKURU



ACK キッズプログラム参加者募集

国際的な
アートフェアである
Art Collaboration Kyoto (ACK)
の会場で子どもに向けたワークショップ
を開催します。会場内に設置された作品をガイドツ
アーで巡る「みる」と、実際に手を動かしてアーティストとと
もに作品を作るワークショップ「つくる」があります。プログ
ラムの参加は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

2025年 11.14 金・15 土・16 日

参加費：無料 (ただし、同伴者や保護者のACK入場料は別途必要)
場 所：国立京都国際会館 ニューホール キッズプログラムスペース

ACK キッズプログラムとは

アート好きの子どもが増えるような環境作り、未来の美術教育の必要性を再認識することをねらいとし、国際的なアートフェアの会場内でのプログラムを通じて、新しいセンス、新しい視点をすべての参加者に感じてもらえることを目指しています。また、小さなお子様をもつすべての方がアートに関わることができるように、ACKは無料託児サービスをご用意しています。



参加申し込み
プログラムの詳細は
<https://a-c-k.jp/for-kids>



問合せ
kids@a-c-k.jp

11.14(金) 事前申込 定員 20名

名和晃平 Drink & Draw
モデルクッキーを通じて、描くことの自由さ・楽しさを体感するプログラム。

・15:00～17:30(受付14:30～) ※入退場自由

対象：どなたでも



名和晃平「Drink & Draw」
Model Art & Design 2025 (撮影：藤原真由)

彫刻家、Sandwich Inc.代表、京都芸術大学教授。1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。2009年、京都・伏見にクリエイティブ・プラットフォーム「Sandwich」を創設。独自の「セル(細胞・粒)」の概念を機軸に、領域横断的な創作を行う。近年では、建築やパフォーマンスのプロジェクトも手がける。2025年11月、ベルギーの振付家/ダンサーのダミアン・ジャレとのパフォーマンス作品《Planet [wanderer]》を京都と東京にて公演予定。
<http://kohei-nawa.net/ja/>

11.15(土) 事前申込 各回定員 10組

八木 隆裕 銅を叩いて、100年続く技に触れてみよう (開化堂)

・13:30～14:30(受付13:00～)
・15:30～16:30(受付15:00～)

対象：親子、子どもは小学生以上



Michael Freeman

茶筒の老舗「開化堂」6代目。2000年「開化堂」入社。創業当時よりつくり続けてきた茶筒の技術習得に励む傍ら、国内のみならず海外市場にも積極的に進出。2012年より京都の伝統工芸の若手職人とともに「GO ON」を結成。国内外で伝統工芸を広める活動を行う。2014年ロンドンのヴィクトリア&アルバートミュージアムのパーマネントコレクション、2015年にもバリ装飾美術館、デザインミュージアムデンマーク等のパーマネントコレクションに開化堂の茶筒が選出。著書に「共感と商い」(祥伝社)がある。
<https://kaikado-cafe.jp/>

11.16(日) 事前申込 各回定員 15名

副産物産店 副産物産店と色々な視点で作品(商品)をつくらう

・14:00～15:00(受付13:30～)
・16:00～17:00(受付15:30～)

対象：8～13歳の子ども (目安として小学校3年生～6年生)



副産物産店は、山田毅(只本屋)と矢津吉隆(kumagusuku)が主に京都で活動するものの価値、可能性について考えるプロジェクトです。主な展覧会としては、2021年「副産物産店の「芸術資源循環センター」展」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)、2024年「アブソリュート・チェアーズ」展(埼玉県立近代美術館/埼玉、愛知県美術館/愛知)、「京都サーキュラータワー in 森、道、市場」(森、道、市場2024/愛知)、2025年「スキマをひらく」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)などがあります。
<https://byproducts.thebase.in/>

みる

ツアー アートフェア会場内で対話型鑑賞によるツアー(約60分)を実施します 事前申込 対象：中学生、高校生

11.14(金) 16:30～/18:00～
11.15(土) 13:00～/15:00～
11.16(日)x 11:30～/13:30～

ガイド：京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター (ACC)

人が人との間で生きていくために最も重要な要素であるコミュニケーションのあり方・育て方について美術教育の現場から問い直すことを趣旨とし、2009年4月に設立。ニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞教育プログラム「VTC (Visual Thinking Curriculum)」を源流に、京都芸術大学が2004年度から展開する対話型鑑賞教育プログラム「ACOP/エイコップ (Art Communication Project)」を応用し、全国の美術館や他大学との共同研究、芸術祭・アートプロジェクトと連携した取り組みや、医療・福祉など対人援助者やビジネスパーソンに向けた研修も展開しており、年々その活動の領域を広げている。

ART COMMUNICATION RESEARCH CENTER
京都芸術大学
アート・コミュニケーション研究センター



Kids Studio

申込不要 参加無料

一般会期中の事前申し込みのワークショップを開催していない時間帯は、副産物産店によるキッズスタジオをオープンします。

A C K

Art Collaboration Kyoto (ACK) は、「現代アートとコラボレーション」をコンセプトに京都で開催するアートフェアです。アートフェアとは、アート作品を展示し販売するイベントのことで、ACKは現代アートに特化したアートフェアとしては日本最大級で、日本と海外のギャラリー、行政と民間、美術とその他の領域などがコラボレーションする点に特徴があります。メイン会場の国立京都国際会館で、「ギャラリーコラボレーション」と「キョウトミーティング」の2つのセクションを設け、作品の鑑賞や購入ができます。

開催日：2025年11月14日(金)～16日(日)

会場：国立京都国際会館

主催：Art Collaboration Kyoto 実行委員会

構成団体：京都府、一般社団法人日本現代美術商協会、一般社団法人日本現代美術振興協会、一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、京都商工会議所、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

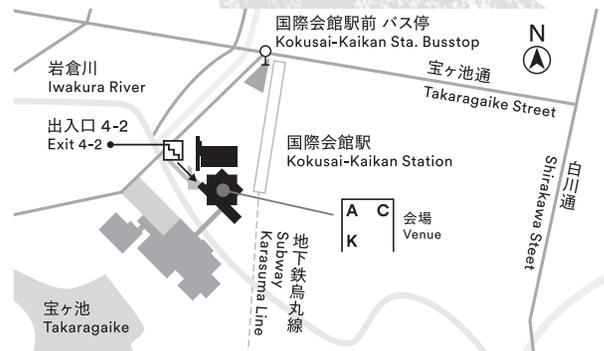
●チケット料金

[早割] 一般2,000円 (※10/9まで)

[前売] 一般2,500円 (※11/13まで)

[当日] 一般3,000円、大学生・高校生1,000円

◎託児サービスについて、予約方法など詳しくは、<https://a-c-k.jp/for-kids> →



京都市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車、出入口4-2より徒歩約5分
京都バス、京都バス「国際会館駅前」下車徒歩約5分
京都駅よりタクシーで約30～40分

ACK実行委員会事務局 (業務委託/一般財団法人エーシーケー)

604-0862京都市中京区丸太通丸上ル少将井町229-2 第7長谷ビル 2階

●Tel 075-708-8591 ●E-mail info@a-c-k.jp ●Web <https://a-c-k.jp>